



和と力

7月号



売布小ホームページ

令和7年(2025年) 7月 1日

宝塚市立売布小学校

校長 藤山 昌生

先週末、近畿地方が「梅雨明けしたとみられる」と発表されました。大雨による甚大な被害がないことはありがたいですが、梅雨の時期に「水を貯金」としていると考えれば、適度な雨が続くことは、私たちの生活を支える大切な自然の恵みと言えるでしょう。今年は例年より早く梅雨が明けたため、飲料水や農作物への影響が懸念されます。特にお米への影響がないことを願っています。これからさらに暑さが厳しくなる時期を迎えますので、引き続き暑さ対策や熱中症予防へのご協力をお願いいたします。

さて、売布小学校では、国語科の学習と関連づけながら、子どもたちがより本に親しめるよう、春と秋の年2回の読書週間を設けています。子どもたちは意欲的に本を読むだけでなく、自分の好きな本を紹介したり、それを魅力的なPOPとして発信する活動にも取り組んでいます。

これまでも、書店では「名作」と呼ばれる本が注目を集めているという話題を耳にしたことがあります。その背景には、装幀やデザインの工夫があるようです。一見すると装幀のように見える「特大帯」「全面帯」と呼ばれるデザインが採用され、有名な漫画家のイラストや魅力的なキャッチコピーが添えられていることで、読者の手に取りやすい仕掛けが施されています。これらの工夫が名作の魅力を再発見するきっかけとなり、多くの人々に読書の楽しさを届けているのです。

本校の読書週間でも、子どもたちが作る本のPOPや紹介文には、こうした「読んでみたい」と思わせる工夫が見られます。例えば、イラストや色使いにこだわったり、キャッチコピーを工夫したりすることで、友だちに本の魅力を伝えようとする姿勢が感じられます。このような活動を通じて、子どもたちが自分の言葉で表現する力を磨き、他者のことを想像しながら思考を深めることは、とても意義深いことであると感じています。

現在、2階渡り廊下にも各学年の作品を掲示していますので、お忙しいとは思いますが、個人懇談等でご来校の際にご覧いただければ幸いです。



夏休みも間近に迫り、子どもたちが家庭で過ごす時間が増える季節となります。文字から様々な情報を得ることのできる読書は、心を豊かにし、想像力を育む大切な営みです。「食事、トイレ、入浴などの時もスマホを手放せない」という課題もよく耳にしますが、一定時間デジタル機器から離れる「デジタルデトックス」の効果を期待しながら、是非この機会に、お子さまと一緒に本を手取る時間を作り、読書の時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。「名作」と言われる本を選んでみるのも良いですし、子どもたちが作ったPOPを参考に新しい本に挑戦してみるのも素敵な時間になることでしょう。